

1. 工事概要は1/4頁目の計画書に記入したものが3/4頁目に反映されます。

計画書(建り法11条通知対応)は1/4,2/4頁目に記入
実施書(建り法18条報告、センサ対応)は3/4,4/4頁目に記入

※最後に必ず印刷して確認してください。

表面

再生資源利用実施書 - 建設資材搬入工事用 - 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H30建設副産物実態調査」対応版

発注機関の選択間違いに注意

元請業者が法人の場合、「法人番号公表サイト」で検索し法人番号を記入

1. 工事概要		発注担当者チェック欄		発注機関コード		法人番号		0123456789012		http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/	
発注機関を選択	大分類	国土交通省		834700		請負会社名		(株)〇△建設		記入年月日	
	中分類	関東地方整備局		担当者		建設太郎		0123456789012		H. 30年 8月 15日	
	小分類	大宮国道事務所		TEL		0xx-xxx-xxxx		会社所在地		埼玉県さいたま市中央区大戸1-1-1	
工事名		〇〇〇〇道路舗装修繕工事		工事種別コード		B-1		請負金額		10000万円(税込)	
工事施工場所		埼玉県 さいたま市 中央区		住所コード		11105		工期		平成30年8月5日から平成30年8月8日まで	
工事概要等			着工年月費		竣工年月日		平成30年7月29日		建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい	

建築面積	0.00m ²	階数	地上 0階
延床面積	0.00m ²		地下 0階
構造		
用途		

※解体工事については、建築面積をご記入いただくなくても結構です。

2. 建設資材利用実施

単位と選択間違いに注意

分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量 小数点第三位まで	再生資材の名称		再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元施設、工事条件 種類、内容	再生資材の供給元場所住所	住所コード	再生資源 利用率 B/A×100%
					再生資材の名称 小数点第三位まで	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで					
特定建設資材	コンクリート	1.再生コン(普通) 普通21-8-20	12,000	再生生コン	5,000	〇〇〇〇(株)××工場	6.他	埼玉県さいたま市緑区〇〇1-1-1	11109	100%
		2.再古(H)	5,000	再生古(H)	5,000	29%
	合計	17,000	5,000
木材	コンクリート及び鉄から成る建設資材	0.000	0.000	0%
	木材	0.000	0.000	0%
	合計	0.000	0.000	0%
アスファルト	1.粗粒	20,000	再生粗粒	20,000	〇〇道路(株)××工場	4.再資源	埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	11107	100%
	2.密粒	10,000	再生密粒	10,000	〇〇道路(株)××工場	4.再資源	埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	11107	100%
	合計	30,000	30,000	100%
土砂	1.一種	16,000	再生一種	16,000	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	1.現場内	埼玉県さいたま市中央区〇〇〇1-1-1	11105	100%
	2.二種	再生二種	0%
	合計	16,000	16,000	100%
砕石	1.クラ	20,000	再生クラ	20,000	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	1.現場内	埼玉県さいたま市中央区〇〇〇1-1-1	11105	100%
	2.粗調	695,000	再生粗調	695,000	〇〇道路(株)××工場	4.再資源	埼玉県川口市〇〇〇9-2-1	11203	100%
	合計	715,000	715,000	100%
その他の建設資材	塩化ビニル管・継手	0.000	0.000	0%
	石膏ボード	0.000	0.000	0%
	合計	0.000	0.000	0%

現場内利用があった場合は、次頁の2.建設副産物搬出実施にも必ず記入

Excel印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意

品目毎の供給元施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

<p>コード#5 コンクリートについて</p> <p>1.生コン(バーজন骨材) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材H) 4.再生生コン(その他再生材) 5.再生生コン(その他再生材) 6.無筋コンクリート二次製品(バーজন骨材) 7.再生無筋コンクリート二次製品(リユース品) 8.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 10.その他</p> <p>コンクリート及び鉄から成る建設資材について</p> <p>1.有筋コンクリート二次製品(バーজন骨材) 2.有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 5.その他</p> <p>木材について</p> <p>1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード</p> <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <p>1.粗粒度アスコン 2.密粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4.開粒度アスコン 5.改質アスコン 6.アスファルトモルタル 7.加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他</p> <p>土砂について</p> <p>1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)</p> <p>砕石について</p> <p>1.クラッシュラン 2.粒度調整砕石 3.鉱さい 4.単粒度砕石 5.くり石、割り石、自然石 6.その他</p> <p>塩化ビニル管・継手について</p> <p>1.硬質塩化ビニル管 2.その他</p> <p>石膏ボードについて</p> <p>1.石膏ボード 2.シーリング石膏ボード 3.強化石膏ボード 4.化粧石膏ボード 5.石膏ラスボード 6.その他</p> <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)</p>	<p>コード#6 アスファルト・コンクリートについて</p> <p>1.表層 2.基層 3.上層路盤 4.歩道 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)</p> <p>土砂について</p> <p>1.道路路床 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し 5.宅地造成用 6.水面埋立 7.ほ場整備(農地整備) 8.その他</p> <p>砕石について</p> <p>1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.河川築堤 4.構造物の裏込材、基礎材 5.その他</p> <p>塩化ビニル管・継手について</p> <p>1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他</p> <p>石膏ボードについて</p> <p>1.壁 2.天井 3.その他</p> <p>その他の建設資材について (利用用途を具体的に記入して下さい)</p>	<p>コード#7 コンクリートについて</p> <p>1.再生生コン(Co再生骨材H) 2.再生生コン(Co再生骨材M) 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材) 5.無筋コンクリート二次製品(リユース品) 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材) 8.その他</p> <p>コンクリート及び鉄から成る建設資材について</p> <p>1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材) 4.その他</p> <p>木材について</p> <p>1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード</p> <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <p>1.再生粗粒度アスコン 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン 4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8.その他</p> <p>土砂について</p> <p>1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 6.その他</p> <p>砕石について</p> <p>1.再生クラッシュラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他</p> <p>塩化ビニル管・継手について</p> <p>1.再生硬質塩化ビニル管 2.その他</p> <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)</p>	<p>コード#8 再生資材の供給元について</p> <p>1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード 6.その他</p> <p>施工条件について</p> <p>1.再生材の利用の指示あり 2.再生材の利用の指示なし</p>
--	--	--	--

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工専用ー

解体と新築工事を一体的に施工する場合は、搬出工事用は解体分と新築分に分けてエクセルファイルを作成

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出実施

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用して下さい

単位間違いに注意

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④ 小数点第2位まで	現場内利用・減量			現場外搬出について							再生資源利用促進率 ②+③+⑤ ① (%)				
		用途コード*10	②利用量	③現場内改良分	④減量化量	⑤減量化量	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード*4		運搬距離 千メートル	搬出先の種類	④現場外搬出量 小数点第3位まで	うち現場内改良分
コンクリート塊	112,000 トン	路盤材	40,000 トン			搬出先1: ○○リサイクル(株)○○工場	民間		埼玉県上尾市××1-2-3	11219	10	6.中倉外	72,000 トン		72	100%
建設発生木材A (コンクリート系躯体材等)	10,000 トン					搬出先1: ○○(株)チップ化工場	民間		埼玉県川越市△△2-2-2	11201	15	6.中倉外	8,000 トン		8	80%
アスファルト・コンクリート塊	302,000 トン					搬出先1: (株)○○ 中間処理施設	民間		埼玉県さいたま市中央区○○3-3	11105	5	7.焼却				
その他がれき類	1,000 トン					搬出先1: ○○道路(株) × × 工場	民間		埼玉県さいたま市浦和区 × × 2-2-2	11107	15	6.中倉外			302	100%
建設発生木材B (木、薪炭材などが廃棄物となるもの)	2,000 トン					搬出先1: □□処分場	民間		1-2-3	11107	15	6.内務処分	1,000 トン		0	0%
建設汚泥	300,000 トン					搬出先1: ○○(株)チップ化工場	民間		2-2	11201	15	6.中倉外	2,000 トン		2	100%
金属くず	27,000 トン					搬出先1: △△(株)	民間		6-1	13123	40	6.中倉外	300,000 トン		300	100%
廃塩化ビニル管・継手	1,200 トン					搬出先1: ○○金属(株)	民間		7-7-7	11107	13	1.売却	27,000 トン		27	100%
廃プラスチック (塩化ビニル管・継手を除く)	1,800 トン					搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間		4-4	11219	15	6.中倉外	1,200 トン		1.2	100%
廃石膏ボード	0.00 トン					搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間		埼玉県上尾市 ■■4-4-4	11219	15	6.中倉外	1,800 トン		1.8	100%
紙くず	0.00 トン					搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間								0	0%
アスベスト (飛散性)	0.00 トン					搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間								0	0%
その他の分別された廃棄物	0.00 トン					搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間								0	0%
混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.00 トン					搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間								0	0%
第一種建設発生土	2020.000 地山m ³	裏込材	20,000 地山m ³	地山m ³		搬出先1: ■■■■工事	公共	A指定処分	東京都港区○○7-10-20	13103	33	2.他工事	1,300,000 地山m ³	地山m ³	2,000 地山m ³	100%
第二種建設発生土	0.000 地山m ³					搬出先2: ☆☆☆☆工事	民間	A指定処分	東京都足立区○○3-2-1	13121	28	2.他工事	700,000 地山m ³	地山m ³	0 地山m ³	0%
第三種建設発生土	1025.000 地山m ³					搬出先1: ★★★★★工事	公共	A指定処分	東京都港区 × × 1-3-5	13103	32	2.他工事	603,000 地山m ³	地山m ³	603 地山m ³	59%
第四種建設発生土	0.000 地山m ³					搬出先1: ○○○○養生場	民間	A指定処分	埼玉県福川市○○4-4-4	11231	20	10.土捨て	422,000 地山m ³	地山m ³	0 地山m ³	0%
浚渫土以外の泥土	0.000 地山m ³					搬出先1: ○○○○養生場	民間								0	0%
浚渫土 (建設汚泥を除く)	0.000 地山m ³					搬出先1: ○○○○養生場	民間								0	0%
合計	3045.000 地山m ³		20,000 地山m ³	0.000 地山m ³		搬出先2: ○○○○養生場	民間						3025,000 地山m ³	0.000 地山m ³	2603 地山m ³	86%

現場内利用があった場合は、前頁の2.建設資材利用実施にも必ず記入

目品毎の搬出先施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用して下さい。

エクセル印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意。※現場内利用の場合は、工事施工場所コードとあっているか確認

選択間違いに注意

距離は整数入力

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他

コード*12
施工条件について
1.A指定処分 (発注時に指定されたもの)
2.B指定処分 (もしくは準指定のもの) (発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13
(建設廃棄物の場合)
1.売却 2.他の工事現場 (内陸)
3.広域認定制度による処理 (発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
4.中間処理施設 (含プラント以外の再資源化施設)
5.中間処理施設 (サマルリサイクル)
6.中間処理施設 (単焼却)

(建設発生土の場合)
1.売却 2.他の工事現場 (内陸)
3.他の工事現場 (海面)
4.土質改良プラント
5.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がある場合)
6.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がない場合)
7.採石場・砂利採取跡地等旧事業
8.廃棄物最終処分場 (覆土としての受入)
9.廃棄物最終処分場 (覆土以外の受入)
10.土捨て場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。